

つなげよう つながろう
ふたばのわ



コミュニティ情報紙「ふたばのわ」は、
町民皆さんとそれを支える全ての人を巻き込み
それぞれの思いやあらゆる情報に
共有・共感できる紙面をめざしています。
月に一度、ふたばのわのページをめくって
みんなで一緒に笑顔になりませんか。



表紙は勿来の関公園 吹風殿(1月21日かるたんか交流会より)

- ▶ **んだ! 勿来さ行くべ!! 勿来・双葉復興応援バスツアーに密着(P2~3)**
- ▶ 町民の輪から地域の和へ・双葉町役場紹介(4)(P4~5)
- ▶ スマイルフォト・情報掲示板(P6) ▶ お知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: ふたさぼ広報チーム(双葉町復興支援員)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

 町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>



んだ！勿来さ行くべ！！

勿来・双葉復興応援 バスツアーに密着

1月21日、勿来ひとまち未来会議が主催する「んだ！勿来さ行くべ！！勿来・双葉復興応援バスツアー」が開催され、勿来地区周辺に住む双葉町民10人が参加しました。

午前8時30分、いわき市南台応急仮設住宅を出発したバスは、双葉町外拠点と位置づけられているいわき市勿来酒井団地、周辺の窪田町商店街、岩間地区防災緑地などの様々な見学ポイントを一日かけて回りました。途中、勿来の関公園 吹風殿で開催された「勿来&双葉かるたんか交流会」にも参加し、いわき市民とかるた大会や昼食をともにし親睦を深めました。

参加者の多くが、ふだんは移動手段がなく周辺を巡る機会が少ないとのこと、ガイドから説明を受けるたびに質問をしたり感想を述べたりと、勿来地区の魅力に十分に満喫できたようです。

「勿来地区はいわきの縮図」



バスツアーでガイドを務めた勿来ひとまち未来会議の中根有さんいわき市勿来地区の魅力をうかがう

1 さあ出発！

朝8時30分。バスツアーの参加者10人が、サポートセンターひだまりの前に集合。バスが到着すると「立派なバスだね」と感嘆の声があがりました。バスに乗り込みよいよ出発です。



3

バス車窓より 勿来地区を見学

勿来酒井団地をあとにした一行は、周辺の窪田町商店街や注目スポットを教わりながら次のポイントを目指しました。

5

いわきの 名産品を知ろう！

ツアーの最後はいわき・ら・ら・ミュウへ。旬のあんこうや揚げたてのかまぼこの前で立ち止まる人が多かったようです。



2

バス車窓より いわき市勿来酒井 団地の整備進捗を確認

多くの町民の皆さんが入居予定であるいわき市勿来酒井団地の復興公営住宅。福島県の担当者などから建設中の施設や整備の進捗状況について説明を受けながら、敷地内をバスで一周しました。広場には双葉ダルマをイメージして作られたという丸い花壇が。参加者からは「静かで日当たりが良く住み心地が良さそう」と好評でした。



ご存知ですか？

バスツアー見学ポイントにもなった、いわき市勿来酒井団地内の一部の戸建て住宅の整備事業には、地元の勿来工業高校建築科の生徒が参加し、敷地内に鳥の巣箱と餌台を設置しました。生徒たちは昨年開催された着工式や上棟式にも参加しており「この事業をきっかけに、ここに住む方々と交流できれば」と話しています。



前列赤いネクタイが勿来工業高校建築科の皆さん

たところ「勿来地区はいわき市全体の縮図のような町。神社を中心に地域独自の伝統文化を形成し、特色あるイベントなどを開催しています。植田駅周辺で毎年開催されている歩行者天国や各地の子ども向けイベントにも参加していただき、勿来地区での生活を楽しくしてほしい」とのことでした。

今後も勿来ひとまち未来会議の皆さんが発信してくださる情報に注目です。

「人と文化の共生をめざす」



今回のバスツアーやかるたんか交流会の企画・運営には、芝浦工業大学の学生グループが協力してくださいました。

した。もともとは東日本大震災で被災した勿来地区の復興支援に取り組んでいた皆さん。双葉町が植田駅前に仮設庁舎のいわき事務所を構え、多くの町民が勿来地区に移転してきたことを機に、地域住民との共生を自分たちの力で後押しできればと様々な取り組みを行ってきました。この活動はすでに4年が経過しており、先輩から後輩へと引き継がれ、双葉町民の心の復興に若い力が注がれています。学生グループを代表し芝浦工業大学大学院生の長島裕樹さんは「今後も勿来酒井団地内でコミュニティ形成を促すきっかけづくりなどができれば」と話しており、多くの方へのイベント参加を呼びかけていました。

4

勿来&双葉 かるたんか交流会に参加

午前10時、一行は勿来の関公園 吹風殿に到着。「勿来&双葉 かるたんか交流会」に参加しました。

この交流会は、勿来地区と双葉町の魅力が詠まれたかるたを通してお互いの文化や地域の良さを知ろうと企画されたもので、昨年に引き続き2回目の開催です。

一行が到着した時にはすでに多くの参加者が詰めかけていました。5つのグループに分かれてかるた取りがスタート。勿来のかるた「なこそかるたんか」は上の句と下の句に分かれており、双葉町の皆さんは少し苦戦していたようです。

双葉町からの参加者は「子どもさんの覚えが良いのには敵わないよ」と言いながらも真剣な表情でかるたから目を離さずにいました。いわき市から参加したという女性は「双葉のかるたには後世に伝えたい魅力が詠まれていて素敵だと思いました。一緒にグループのお婆ちゃん解説してくださったので楽しめました」と笑みをもらっていました。



町民の輪から 地域の和へ

各地で広がっています！交流の輪

郡山市 せんだん広場

第3回 餅つき交流会

12月20日、郡山市の双葉コミュニティ施設せんだん広場で、せんだん広場交流会実行委員会が主催する第3回餅つき交流会が開かれました。この交流会は、郡山市に住む双

葉町民とせんだん広場周辺住民との交流を目的に開催されているもので、この日は近隣の町内会長や郡山警察署のウルトラ警察隊も参加し交流を楽しみました。

加須市 ふたば交流広場

新年餅つき大会

1月14日、加須市のふたば交流広場で新年餅つき大会が開かれました。お正月の慣例で続けてきた餅つき大会ですが、回を重ねるごとに周辺住民の参加も見られるようになってきました。自治会

主催ですが、婦人学級やボランティアカフェの皆さんの全面協力もあり、あんこ、きなこ、お雑煮など5種類の餅が用意され、この日会場を訪れた人は100人にのぼりました。

東日本大震災から7年が経過しました。これまでの7年間で、自治会や町民グループを中心に、新たな、そして双葉町らしいコミュニティを形成しようと努力を続けてきた方たちがあります。また、町内外の多くの方たちがそれを支え続け

てくれました。今、それぞれの避難先では、双葉町民の交流の輪が地域住民を巻き込みながら少しずつ広がっています。年末から1月にかけて開催された、地域住民と双葉町民との交流イベントをご紹介します。



せんだん広場は、ウルトラ警察隊などの広報活動や警察への協力、支援活動への功績が評価され、昨年12月に郡山警察署から感謝状が授与されました。



双葉町役場紹介 郡山支所

☎ 024-973-8090 ✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

郡山支所は、いわき事務所生活支援課と健康福祉課の業務拠点となっています。職員13人(内臨時職員3人)が、仮設住宅の維持管理等の業務や諸証明の申請受付及び交付事務、健康づくりと福祉業務を行っています。今後も町民の皆さまへの行政サービスの提供に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



(左から)
後列:白土、渡部、鈴木、佐久間、井上、橋本(美)、山本、仲丸
前列:橋本(幸)、朝田、細澤支所長、角田、安部

つくば市 つくばカヒオサイバータイムアリーナ
つくば体操フェスティバル

1月27日、つくば市で第23回つくば体操フェスティバル2018が開催され、つくば市民と周辺に住む双葉町民13人が参加しました。これは、筑波大学体操部や体操コーチング論研究室が主催するもので、同大学の学生などが指導しているつくば市内の約20の体操グループが日頃の練習の成果を発表するイベントです。

込まれていました。参加者約200人が大きな輪になってふたば首頭を踊る姿は圧巻でした。ふたば首頭の指導にあたった中村富美子さんは「双葉町の町民体育祭などで大勢で踊ったことを思い出しました。双葉町民の思いを共有できたことが嬉しいです」と話していました。

このイベントに双葉町の皆さんが初めて参加したのは2013年のことです。長谷川聖修大会会長（筑波大学大学院教授）が、つくば市に避難してきた方々に地域に馴染んでもらおうと体操教室に誘ってくださったことがきっかけでした。この教室は「つくしま体操教室」と名付けられ、つくば市民、双葉町民の垣根なく、気軽に参加できる交流の場となりました。

一方的に支援するよりも双葉町、つくば市双方のすばらしい文化性を尊重し、支え合い学び合うことが大切との長谷川氏の思いから、当日のプログラムには「相馬流れ山踊り」や「ふたば音頭」が盛り



双葉町役場紹介② 埼玉支所

☎ 0480-53-7780 ✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

埼玉支所は、加須市プラザきさい内（旧加須市騎西総合支所）にあります。昨年3月より、窓口を1階から2階に移し、職員8人（内 臨時職員4人）で対応しております。関東唯一の窓口として、今後も各課などとの連絡調整、町民の皆さまの利便性の向上に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



（左から）守家、宇佐見、池田支所長、鶴沼

ふたさぼのお スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



1月14日(日)
新年餅つき大会(加須市)



1月25日(木)
第3回出張ひだまりサロン
in 小名浜(いわき市)



1月21日(日)
勿来 & 双葉 かるたんか交流会
(いわき市)



12月22日(金)
平成29年郡山警察署長
感謝状贈呈式(郡山市)



2月3日(土)
双葉町民
ボウリング大会
(鏡石町)

情報掲示板

自治会イベント

県北ふたば会(福島市)

3/23(金) ▶ 移動例会(福島市老人福祉センター)

4/13(金) ▶ 総会

いわき・まごころ双葉会(いわき市)

4/14(土) ▶ 例会(ハーモニカの演奏会)

※2月20日時点の情報です。

自治会、町民グループさまの交流会、イベント情報などございましたら、この掲示板をご活用ください。
掲載ご希望の場合は、ふたさぼ(双葉町復興支援員)までお知らせください。

お知らせ

「ふるさと帰還通行カード」申し込み受付中

平成30年7月1日から高速道路の無料措置の適用方法が変更され、新たに「ふるさと帰還通行カード」が導入されるため、町ではカードの利用申し込みを受け付けています。

利用申込書は、ふたばのわ(第51号)に複写式(透明な袋に封入)とダウンロード版(A4版ホチキス留め)の2種類を折り込みしています。

詳しくは、広報ふたば2月号または町ホームページをご覧ください。

なお、申込受付からお手元にカードが届くまでに1~2カ月程度かかりますので、お早めにお申し込みください。**※平成30年7月1日以降は、カードをお持ちでないとは有料となります。**



対象となる方

東日本大震災発生時に、双葉町に居住していた方で、双葉町が発行する被災証明書をお持ちの方

申込方法 (窓口受付)

いわき事務所、郡山支所、埼玉支所の3カ所(受付時間:8:30~17:15)
※郵便による受付は、いわき事務所のみとなります。

問い合わせ先

カード発行に関すること▶NEXCO東日本お客さまセンター

☎0570-024-024

申し込みに関すること▶いわき事務所総務課

☎0246-84-5201

郡山支所生活支援課

☎024-973-8090

埼玉支所生活支援課

☎0480-53-7780



ふるさと帰還通行カードのお申し込みについては、2月9日配信のニュースふたば臨時号「高速道路無料措置に関する大切なお知らせ」でもご案内しております。パソコンでご覧になる方は、双葉町公式YouTubeチャンネルより、町配付のタブレット端末をご利用の方は、ふたばアプリ→ふたばチャンネル→ニュースふたばとお進みください。左のQRコードからもご覧いただけます。

【個人版私的整理ガイドラインのご案内(福島財務事務所)】 ~東日本大震災により被害を受けた皆さまへ~

「個人版私的整理ガイドライン」の利用で、震災前からの住宅ローンなどが免除されます。

※債務の免除には、一定の要件を満たすことが必要となります。

個人版私的整理ガイドラインを利用するメリット

- ①生活再建に必要な資産(500万円(上限)・義援金等)は手元に残せます。
※被災状況、生活状況などの個別事情により減額があり得ます。
- ②弁護士などの登録専門家が手続きをサポートします。また、国の補助により弁護士費用はかかりません。
※運営委員会に登録された弁護士の費用に限ります。
- ③債務整理したことは個人情報として登録されません。
※金融機関等がガイドラインの利用を理由として新たな借り入れを制限することはありません。

詳しい内容は、下記に問い合わせください。

一般社団法人個人版私的整理ガイドライン運営委員会

コールセンター ☎0120-380-883

福島支部 ☎024-526-0281(受付時間:平日9時~17時)

URL: <http://www.kgl.or.jp/>



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成30年2月23日

- ① 福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.12~0.19
- ② 郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.11~0.26
- ③ 郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.09~0.50
- ④ 郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.15~0.20
- ⑤ いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.05~0.06
- ⑥ 白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.08~0.11
- ⑦ 福島市 県北保健福祉事務所 ……0.15
- ⑧ 郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.09
- ⑨ 白河市 県白河合同庁舎 ……0.07
- ⑩ 会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.05
- ⑪ 南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.04
- ⑫ 南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.08
- ⑬ いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.07



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成30年 2月23日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.56
新山	新山公民館	—	0.38
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.35
新山	双葉南小学校	—	0.43
新山	双葉中学校	—	0.19
新山	県立双葉高等学校	—	0.27
新山	中央公園	—	0.49
下条	双葉総合公園	2.60	0.77
下条	双葉町役場	—	0.27
郡山	郡山公民館	1.48	0.44
細谷	細谷公民館	2.31	0.51
三字	三字公民館	2.53	0.89
山田	山田農村広場	24.47	5.35
石熊	石熊公民館	12.10	2.42
長塚	双葉町体育館	6.25	1.56
長塚	長塚二公民館	3.26	0.38

地区	地点	平成24年 4月1日	平成30年 2月23日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.86
長塚	町西住宅	—	0.23
長塚	JAふたば北部営農センター	—	5.61
長塚	双葉北小学校	—	1.54
長塚	ふたば幼稚園	—	1.42
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.36
長塚	双葉町児童館	—	0.32
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.59
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.48
寺松	寺松公民館	3.46	1.05
渋川	渋川公民館	1.48	0.44
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.95
中田	中田公民館	0.77	0.24
両竹	両竹公民館	0.54	0.09
浜野	浜野公民館	0.34	0.07

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>



Futasapo Mini Column ふたさぽミニコラム



平成30年3月をもって、芳門、山根、飯嶋、秋元、鈴木はふたさぽを卒業することになりました。お世話になった皆さんへの感謝の気持ちを込めて、これまでお伺いした双葉町の話をもとめた本を作りました。間もなく、皆さんのお手元へ届きますので、ぜひご覧ください。これからもまた違ったかたちで、双葉町の皆さんとつながっていけたら嬉しいです。本当にありがとうございました。



(写真左より)山根、鈴木、飯嶋、芳門、秋元

まだ肌寒い日もありますが、暦の上では春。全国的に卒業シーズンを迎えています。町立学校では3月13日に中学3年生が、23日には幼稚園の年長さんと小学6年生が、卒園・卒業式を迎え、新たなステージへと一歩踏み出します。取材カメラを通して、会うたびに身長が伸びていたり、表情が凛々しくなっている姿を見ているので、取材に行くと私も嬉しい気持ちでいっぱいになります。新学期に向けて晴れやかな表情の皆さんに勇気をもらいながら、私もまた新たな気持ちで頑張ろうと思います。(広報)上遠野佳苗